

efit+ for TCU Ver.1.4.6.0 アップデート概要

2018年6月
株式会社 ニコン・トリンプル

本書では、efit+ for TCU Ver.1.4.6.0 で追加、変更された機能の概要を説明します。

ソフトウェア構成表

◆efit+ for TCU Ver.1.4.6.0 の製品構成は下記の通りです。

製品名	コード	備考	改良
efit+T 測量基本ソフト	B-E1-T00	基本キットに含まれます	
efit+T 測量観測	B-E1-T50	基本キットに含まれます	
efit+T 測量計算	B-E1-T51		
efit+T 線形計算	B-E1-T52		
efit+T 縦横断観測	B-E1-T53		
efit+T 平板観測	B-E1-T54		
efit+T GPS観測	B-E1-T55		
efit+T オートフォーカスOP	B-E1-T56		
efit+T 地籍観測	B-E1-T57		
efit+T Nikon通信OP	B-E1-T58		
efit+T 定点観測	B-E1-T59		
efit+T i-Construction	B-E1-T60		
efit+T シュアスキャン	B-E1-T61		新規パッケージ

SureScan 対応

Trimble S7

◆スキャン計測

スキャン計測には、SureScan 機能を利用した高速な座標計測と、カメラ機能を利用した写真録機能が備わっています。
(写真データは USB メモリにも保存が可能です)

スキャン計測では、計測範囲の選択や、計測領域の確認画面等でビデオ画面を活用させる事で、作業を効率的に行えるよう設計しました。

スキャン計測では計測点数の上限を撤廃しました。(面計測では計測点数の上限が設定されていました)

スキャン計測を行うには、トータルステーション側に SureScan、ビデオ機能が必要となります。現在の所、「Trimble S7 Vision」のみ対応となります。



計測データの出力フォーマットは、「SIMA 座標」、カンマ区切りの「csv」、「xyz」形式に対応しています。
「csv」、「xyz」のデータ内容は同一です。ご利用するソフトウェアに応じて使い分けてください。



以上